

【著 書】

1. Oxidative modification of Apolipoprotein E3 and Its Biological Significance
Hara S, Tanaka T, Yamada M, Nagasaka , and Nakamura K.
in Ishimura Y. ed., Oxygen Homeostasis and Its Dynamics, pp. 631-636
Springer-Verlag, Tokyo, 1997.
2. タンパク質と酵素
中村和行
「生き物のからくりー分子から生命までー」(中村和行, 高橋 進編)
pp. 58-83、培風館、東京、1998.
3. 電気泳動法小史
中村和行
「最新電気泳動実験法」I編1章(日本電気泳動学会編)
pp. 1-4、医歯薬出版、東京、1999.
4. 親和電気泳動法・応用ー2次元電気泳動法による抗体の多様性解析
中村和行、三村雄輔、田中経彦、竹尾和典
「最新電気泳動実験法」I編9章(日本電気泳動学会編)
pp. 159-164、医歯薬出版、東京、1999.
5. アポトーシス研究法ーDNA ラダー検出法ー
中村和行、長坂祐二、蔵満保宏
「最新電気泳動実験法」II編6章(日本電気泳動学会編)
pp. 392-395、医歯薬出版、東京、1999.
6. アポトーシス研究法ーアポトーシス関連細胞内小分子蛋白質検出法ー
中村和行、藤本正憲、田中経彦
「最新電気泳動実験法」II編6章(日本電気泳動学会編)
pp. 396-404、医歯薬出版、東京、1999.
7. Plasma Nitrite and Nitrate Determination
Ueda T, Maekawa T, and Nakamura K.
in Palfrey SM. ed., Methods in Molecular Medicine Vol. 27, pp. 203-207,
Humana Press, Totowa, New Jersey, 1999.
8. 電気泳動法
中村和行
「基礎生化学実験法」第3巻 蛋白質1. 検出・構造解析法(日本生化学会編)
pp. 84-106、東京化学同人、東京、2001.

9. 生命を構成する分子
中村和行
「標準栄養学講座 生化学」(長坂祐二、中村和行、久木野憲司編)
pp. 1-11、金原出版、東京、2002.
10. アポトーシスに伴うリン酸化たんぱく質の変動
中村和行、長坂祐二
「病態プロテオミックス」(鈴木紘一監、平野 久、鮎沢 大編)
pp. 137-141、東京化学同人、東京、2002.
11. 第1章、第2章、第4章、第8章
中村和行
『タンパク質研究：なるほどQ&A』(戸田年総、平野 久、中村和行共編、
2005年10月、羊土社、東京)
12. 第5章4. 肝疾患のプロテオミクス
藏満保宏、中村和行
「疾患プロテオミクスの最前線」ープロテオミクスで病期を治せるかー
(戸田年総、荒木令江共編、2005年3月、メディカル・ドゥ社、大阪、228-232頁)
13. 第8章7. HUP0の活動と疾患プロテオミクス
中村和行
「疾患プロテオミクスの最前線」ープロテオミクスで病期を治せるかー
(戸田年総、荒木令江共編、2005年3月、メディカル・ドゥ社、大阪、386-390頁)
14. Affinity electrophoresis for studies of biospecific interactions :
High-resolution two-dimensional affinity electrophoresis for separation of
hapten-specific polyclonal antibodies into monoclonal antibodies in murine
blood plasma.
Nakamura K, Fujimoto M, Kuramistu Y, and Takeo K.
CELL BIOLOGY A Laboratory Handbook, 3rd Edition Volume 4, 197-206 (2006),
Elsevier Science (USA)
15. 第1章 生きもの「生命」、第7章 生きものの代謝
中村和行
『生きものからくり』(中村和行、山本芳実、祐村恵彦共編、2006年2月、培風館、
東京)
16. 第3章プロテオーム・糖鎖を利用した診断
1. 肝細胞癌のプロテオームマーカー
中村和行
実験医学増刊「癌診断研究」(中村祐輔監修) 羊土社(東京) 25巻, 17号,
133-141頁, 2007年

17. Liver Cancer Chapter 27, Hepatitis C virus-related human hepatocellular carcinoma : Predictive markers using proteomic analysis (Methodology) .
Kuramitsu Y, Nakamura K.
Methods of Cancer Diagnosis, Therapy, and Prognosis edited by Hayat MA. 343-350,
(2009) , Springer (USA)
18. Proteomic analysis in cancer patients.
Kuramitsu Y, Nakamura K.
CANCER DRUG DISCOVERY AND DEVELOPMENTTM Genomics and Pharmacogenomics in
Anticancer Drug Development and Clinical Response edited by Federico Innocenti,
33-45, (2008) , Humana Press (USA)
19. 序、第2章、第3章総論、第4章総論、プロテインチップ、第9章肝癌
中村和行
「臨床プロテオミクス バイオマーカー探索から個別化医療へ」
(加藤治文監修、中村和行、西尾和人、西村俊秀共編、2012年5月、金原出版、
v頁、42-48頁、 60-63頁、112-117頁、146-152頁、348-351頁)
20. 最新「医学略語辞典」第5版
中村和行分担執筆 (橋本信也監修、斎藤泰一、清水哲也共編、2012年11月、
中央法規、東京)
21. 「プロテオミクス辞典」
中村和行分担執筆 (日本プロテオーム学会編集、2013年5月、講談社、東京)